

日本放送協会岡山放送局長賞

だいこんぬき

美作市立江見小学校

一年生 田中瑞季

おおみそかの あさ、

「おじいちゃんが ねつが 出とんじゃ。」

と おばあちゃんが 大きい こえで いいました。

おかあさんが、

「どうしたん。インフル。」

と ききました。おばあちゃんは、

「いま、びょういんで けんさして もらっとんじゃ。」

と いいました。

わたしは、だいじょうぶかなあ、きのう じいじは、さむいのに ブルーベリーの さくを なおして いたから かぜを ひいたんかなあと おもいました。

じいじは やっぱり インフルエンザでした。きょうは、じいじと だいこんを ぬきに いく 日でした。でも、じいじは、ねつで はたけに いけません。わたしが、おばあちゃんに、

「だいこんぬきは、どうするん。」

と きくと、

「おばあちゃんと いくか。」

と、おばあちゃんが いいました。わたしは、

「うん。」

と こたえました。

上ぎを きて、ながぐつを はいて、手ぶくろを もって いきました。おばあちゃんも 上ぎを きて、ながぐつを はいて、手ぶくろを もって いきました。それから、だいこんを入れる 大きい ふくろも もって いきました。

はたけに ついたら、おばあちゃんに、

「だいこんは、どこ。」

と たずねました。すると、おばあちゃんは、

「あそこ。みどりの ぎざぎざの はっぱが 見えるじゃろ。」

と ゆびさして、おしえて くれました。

かぜが ヒューヒュー ふいて いました。だけど、がんばって ぬくぞと おもいました。わたしは、一ばん 大きい だいこんを さがしました。だいこんが ある ところを あらきながら さがしました。すると、わたしの 目の まえに 大きい だいこんが ありました。白い ところが、土の中 から ぴいんと 出て いました。わたしが、

「これが 大きいで。」

と いうと、おばあちゃんが、

「はっぱの 下の ところを もって、まっすぐ 上に ひっぱって みい。」

と いました。はっぱを まとめて、上に ひっぱり上げました。つなひきみたいに、うしろに かたむけて ひっぱりました。でも、なかなか ぬけませんでした。おばあちゃんが、

「よこに ぐいぐい ふってから ぬいて みい。」

と いうて、だいこんを ぐらぐらに して くれました。わたしも もう 一ど ひっぱり 上げると、すぽっと ぬけました。わたしは、三本 ぬきました。おばあちゃんは、五本 ぬきました。

おじいちゃんの だいこんは、とっても あまくて おいし